



大好き大野

令和7年2月26日

NO. 11

文責 山口

大雪が降りました

2月4日（火）に降り始めた雪は、5日（水）の朝は、うっすらと大野の自然に雪化粧を施していました。朝から子どもたちは校庭の隅に積もったわずかな雪をかき集めて遊んでいました。



天気予報では途中から「雨」となっていましたが、ここ大野では雨予報の時間帯は全て雪が降り続き、やむ気配がなかったため、給食後に各ご家庭にお迎えに来ていただくことにしました。降り始めた雪はどんどん勢いを増して、ほんの1~2時間程度の間にみるみる積もっていきました。

お迎えをいただきました保護者の皆様方、大変ありがとうございました。皆さん無事に帰り着いたとのことでホッとしたところでした。

今回の大雪は、ニュース等でも報じられていましたので、状況を細かくみながら判断したところですが、それでも予測のできない自然の力を身にしみて感じた2日間でした。

東海カーボン株式会社 田ノ浦工場様ありがとうございました。

先日、東海カーボン株式会社田ノ浦工場の方に来校いただき、5・6年生に工場についての説明をしていただきました。限られた時間ではありましたが、子どもたちにとって地元を知るとても有意義な時間となりました。

工場は90年前からあることや、空襲を受けたこと、現在ではゲームやスマート、その他様々な製品の素材をつくっていらっしゃることなど、なかなか知る

機会はないだろうと感じたところです。私ももっと詳しくお話を聞きたいと思いました。

また、もうすぐ中学生になる子どもたちに、シャープペンシルのプレゼントをいただきました。大切に使わせていただきます。遠いところお越しください、誠にありがとうございました。



学校版環境 ISO

今年度も学校では「学校版環境 ISO」の取組を継続して行っています。

昨年も学校だよりで取り上げた話題ですが、最近は電気代などの高騰もあり、学校でも家庭でも節電や節水の必要性が益々高まっているところです。

学校では、節電や節水、紙のリサイクルなどの取組を行うことによって、環境への負荷を減らそうと取り組んでいます。例えば、「今年は電気の使用量を5%削減する。」などの目標と計画（Plan）を立てて、取り組んだ（Do）結果、どれだけ削減ができたかを測り（Check）、改善や次の取組につなげる（Action）、これが学校版環境 ISOの取組です。単に節電・節水をするのではなく、実態を元にして計画、実行、振り返り、改善のサイクルで取り組んでいくことが重要となります。

今年度は昨年度と比較すると、やや電気の使用量が増えておりましたので、みんなで節電を心がけたいと思っています。

さて、ご家庭での今月の電気使用量・電気代はどれくらいでしたか？水の使用量・水道代はいかがでしたか？既に取り組んでいらっしゃるご家庭も多いかと思いますが、まだのところは子どもさんと相談しながら、少しばかり節電や節水などに取り組んでみられてはいかがでしょうか。ふるさと大野・芦北と地球を守るために、小さなことから始められてはいかがでしょうか。

ちょっとといい話

冬の時期は自宅を出るときの気温が0度という日が珍しくありません。そんな日は学校の駐車場はだいたい-2度です。学校下のスクールバス駐車場でバスを降りた子どもたちが階段を上がってきますが、寒い日は滑りやすくなっています。そんな中、下級生の手を優しくひいて登校する上級生。ゆっくりな子を上でじっと待ってくれる子どもたち。「優しいな」といつも思います。

「こんな姿を保護者の方はご存じだろうか、次にお会いしたらきっと伝えよう」と思っています。学校での頑張る姿は家とは違った姿かもしれません。だからこそ、たくさんお伝えしたい姿があります。そんな機会をいつも楽しみに待っています。

